

### ○不登校児童生徒数の推移

【小学校】 R元：83名、R2：99名、R3：106名、R4：117名

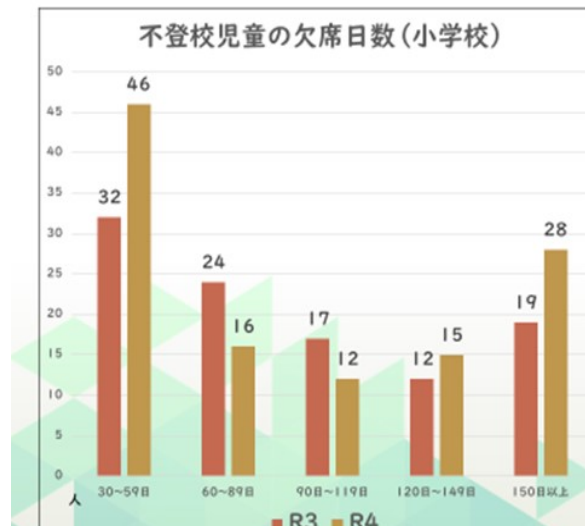
【中学校】 R元：126名、R2：92名、R3：118名、R4：181名

### ○不登校出現率(100人あたりの不登校児童生徒数)

小学校	R元	R2	R3
米子市	1.04	1.25	1.34
鳥取県(国公立)	0.94	1.19	1.40
全国(国公立)	0.83	1.00	1.30

中学校	R元	R2	R3
米子市(含組合)	3.14	2.52	2.98
鳥取県(国公立)	3.70	3.75	4.48
全国(国公立)	3.94	4.09	5.00

### ○不登校児童生徒の欠席日数



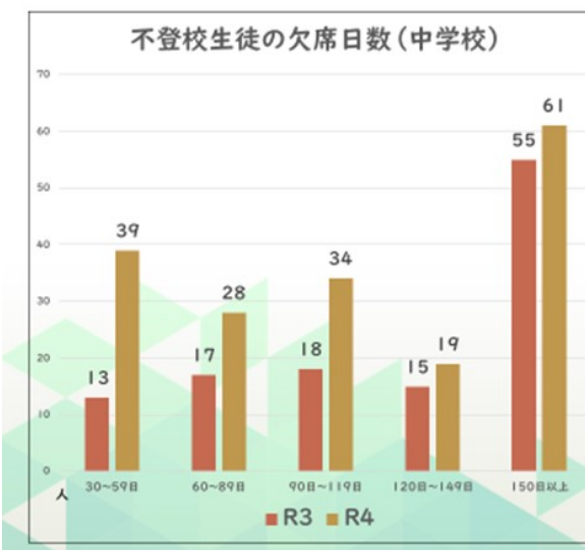
	30日~89日欠席	90日以上欠席
R3	56人 53.8%	48人 46.2%
R4	62人 53.0%	55人 47.0%

不登校児童の平均欠席日数  
R3・・・96.9日  
R4・・・98.7日

### ○不登校児童生徒のうち年度末に前向きな変容が見られた割合



(例) 家から出られなかった児童が、スクールソーシャルワーカーとつながり、ぷらっとホームを利用開始。ぷらっとホームでは、滞在時間5分からスタートし、少しずつ慣れ、他の利用者と体験学習等を行うようになる。中学校に入学した今年度は、校内サポート教室(学校)で過ごしている。



	30日~89日欠席	90日以上欠席
R3	30人 25.4%	88人 74.6%
R4	67人 37.0%	114人 63.0%

不登校生徒の平均欠席日数  
R3・・・134.2日  
R4・・・116.1日

# 令和4年度 教育支援センター「ぷらっとホーム」



## 成果と課題

令和4年8月の開所以来、相談件数、利用児童生徒数ともに増加し、多様な学びの場の1つとしての役割を果たしている。学習支援の他、創作活動や体験活動、コミュニケーション活動を取り入れることで、家から一歩出かける意欲や他者と関わりながら生活することへの自信につながり、利用回数や時間の増加につながった。

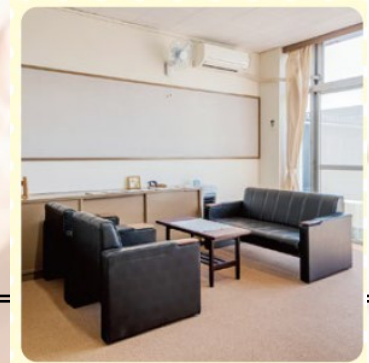
また、学校との連携やスクールソーシャルワーカーの活用により、利用する児童生徒への支援を効果的に行うことができ、学校復帰のきっかけづくりや進路保障の実現に結びつけることができた。

今後は、不登校児童生徒が増加している状況に鑑み、利用を希望する児童生徒の増加や多様化が予測されることから、より一層の体制整備と支援内容の充実を図る必要がある。

## 実績

### 利用児童生徒

- (1)利用児童生徒数 37名 (小学生20名・中学生17名)  
※令和3年度「米子フレンドリールーム」利用児童生徒数13名
- (2)中学3年生進学率 100%
- (3)学校復帰児童生徒 17名 (年度内復帰6名)



## 取組

### 学習支援

- ※ICTを活用した学習支援(一人一台端末、学習アプリ「すらら」等の活用)
- ※個々の学習経験に応じた学習支援
- ※各テストの受検環境整備

### 創作体験活動

- ※支援員による活動支援(毛筆、硬筆、水彩、切り絵、木工、版画、プログラミング、裁縫、手芸、調理 等)
- ※外部講師による体験活動(プログラミング教室、臨床美術教室、そば打ち体験教室、陶芸教室、インテリアコーディネート体験、ポッチャ体験 等)

### 地域での学習

- ※淀江・白鳳の里周辺散策
- ※大山赤松の池カヌー体験
- ※城山散策・プラネタリウム見学
- ※城下町(加茂川周辺・山陰歴史観)散策
- ※境港漁港・水木しげる記念館見学
- ※米子水鳥公園の野鳥観察としおり制作
- ※スキー体験(大山ホワイトリゾート)
- ※サントリー奥大山工場ととっとり花回廊見学

### コミュニケーション活動

児童生徒・保護者への相談活動

運動や音楽など個人活動

学校・SSWrとの連携

# すべてのこどもが成長する場へのアクセス100%をめざして

## 【背景】

○年々、不登校児童生徒が増加している。【米子市（学校組合）立小中学校 不登校児童生徒数 H25…86名→H29…163名→R4…298名】

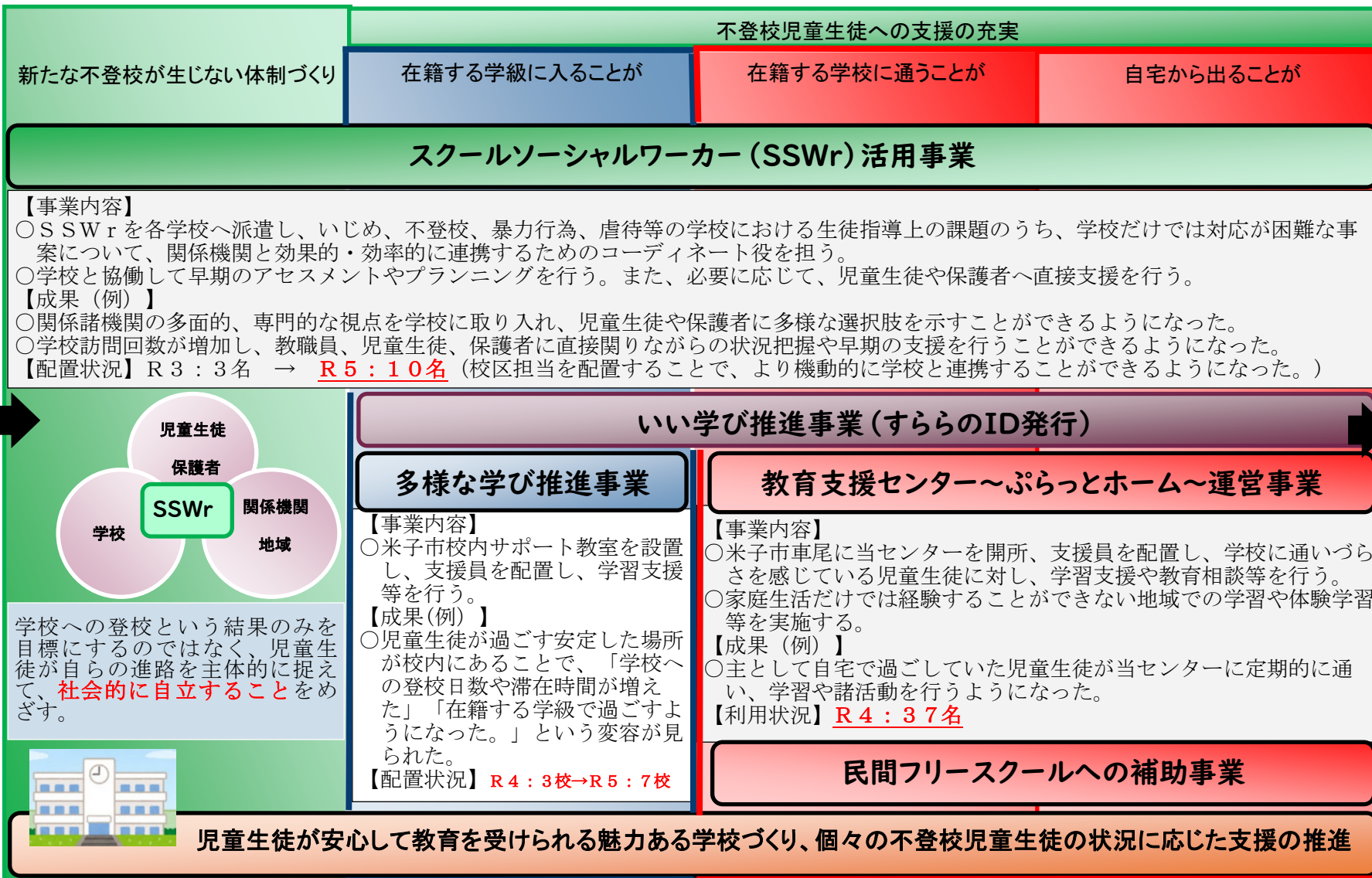
○不登校児童生徒のうち、90日以上欠席が約6割を占め、長期に及ぶ不登校児童生徒が多い状況にある。

（就学相談・米子市小学校オープンスクール・合同情報交換会等）

就学前との切れ目のない支援体制

（こども相談課家庭児童相談室・鳥取県教育委員会・各関係機関へ引き続き）

義務教育終了後の支援



学校への登校という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、**社会的に自立すること**をめざす。



# 教育支援センター・校内サポート教室設置状況

